各 位

株式会社 福岡銀行 株式会社 熊本ファミリー銀行

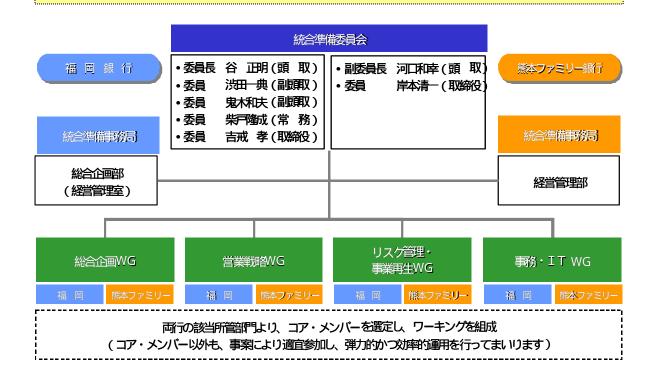
第1回統合準備委員会の開催について

福岡銀行(取締役頭取 谷 正明)と熊本ファミリー銀行(取締役頭取 河口 和幸)は、5月12日の業務・資本提携に関する基本合意に基づき、将来的な経営統合に向けた検討を開始するため、統合準備委員会を設置いたしました。

昨日第1回目の統合準備委員会を開催いたしましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

- 1 統合準備委員会の体制(組織図・構成メンバー)
 - 業務提携および将来的な経営統合に向けた基本方針や、これらに係る重要事項などを協議、決定する機関として両行経営陣をメンバーとする『統合準備委員会』を設置するとともに、その下部組織として、基本方針に基づく全体調整、総括を行う『統合準備事務局』を両行の経営企画部内に設置いたしました。
 - また、今後詳細を検討すべき主要テーマにつきましては、4つのワーキンググループ(WG)を組成し、経営統合に先駆けて実施する業務提携の実施設計をはじめ、統合に向けた 諸事項の検討・実施を進めていくことを確認いたしました。



2 各組織の運営方法および役割・検討事項

• 各WGで検討した諸事項につきましては、統合準備事務局において調整を行い、順次統合 準備委員会にて協議・決定してまいります。

各組織の開催頻度は目安であり、必要に応じて適宜開催いたします。

名 称	統合準備委員会	統合準備事務局	総合企画WG
設置目的(役割)	• 経営統合に向けた基本方針、 重要事項の協議・方針決定	基本方針に基づく全体調整、 統括、進捗管理委員会への付議・報告経営統合に関する手続き全般 の検討	持株会社・両行の中期経営 計画の検討決算・会計、人事・総務、 コンプライアンス関連事項 の検討
検討事項(主要)	業務提携・経営統合に係る 基本方針・重要事項の決定	経営ビジョン(理念、ブランディング、CSR)統合後の基本設計(経営管理システム、ガバナンス体制)各種シナジー効果	基本戦略・経営目標店舗・ATM政策人事制度・人事交流コンプライアンスクオリティ(サービス品質)
開催頻度	原則 月1回	原則 毎週1回	原則 毎週1回
レポ [®] -ティンク [®] ライン	両行の意思決定機関 (取締役会、経営会議等)	統合準備委員会	統合準備事務局

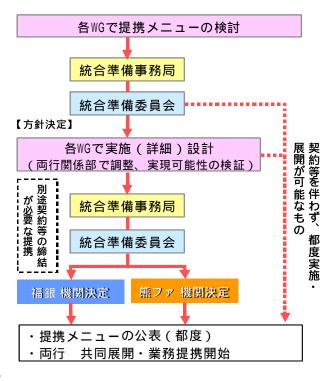
名 称	営業戦略WG	リスク管理・事業 再生WG	事務・IT WG
設置目的	業務提携(営業)に係る分析調査上記実施設計統合に係る営業体制の構築	業務提携(事業再生)に係る 分析調査上記実施設計統合に係るリスク管理態勢の構築	業務提携(事務・IT)に係る分析調査上記実施設計統合に係るシステム運用体制の構築
検討事項(主要)	各種商品・販売チャネルの 共有新商品・サービスの共同開発営業関連事務機能の共同化	事業再生・早期健全化支援 (ノウハウ)の共有自己査定・償却基準の統一化統合リスク管理、新BIS対応	各種システムの共同開発什器備品等の共同購入事務集中部門の共同化手形交換事務等の相互委託
開催頻度	原則 毎週1回	原則 毎週1回	原則 毎週1回
レホ゜ーティンク・ ラ イ ン		統合準備事務局	

3 今後の業務提携の進め方について

今後実施する各種業務提携につきましては、既に公表しております提携内容に止まることなく、両行顧客サービスの向上を図ることを念頭に、将来的な経営統合を待たず、可能な限り前倒しで実施することを決定しました。

【 右図:業務提携に係る体制フロー 】

【 既に公表している業務提携 】 取引先企業の事業再生支援 ATM 相互無料提携 ビジネスローン業務提携 法人ソリューション営業提携 個人向け営業提携 業務効率化提携



4 人財交流について

- 両行主要部門間において、業務提携や統合準備に係る業務を円滑に進めるとともに、両行の企業カルチャーの実体験を通して早期に人財面での融和を図ることを目的とした相互の出向や研修派遣(トレーニー制度)といった人財交流(個人を特定)を実施することを確認いたしました。
- その第一段階として、6月1日付で若干名を相互に出向派遣し、業務提携や統合準備に係る業務に従事させる予定であります。
- また、各種ノウハウの取得や意識の共有を図ることを目的とした共同研修会やグループ・ ディスカッションといった比較的広範で、柔軟な対応が可能な人財交流についても、適宜 実施を検討してまいります。

以上

本件に関するご照会先

福岡銀行 総合企画部 経営管理室 TEL 092 - 723 - 2622

熊本ファミリー銀行 経営管理部 TEL 096 - 385 - 1116